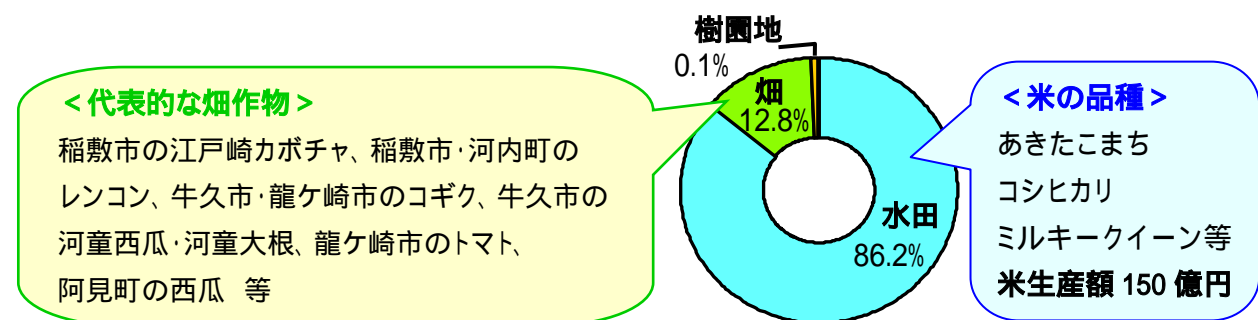


稲敷地域の農業の概要



稲敷地域農業改良普及センターが管轄する地域は、利根川を挟んで千葉県に接する、県南部地域です。霞ヶ浦湖畔から利根川に広がる水田地帯と、霞ヶ浦西部の畑作地帯があり、上記6市町村を担当しています。年平均気温は13.8℃、年間降水量1,332mmと、気象的に恵まれた地域です。

稲敷地域の経営耕地面積13,679haのうち、約86%は水田が占める稲作地帯です。温暖な気候を活かした関東を代表する早場米産地でもあり、水稲の約半分は早生品種「あきたこまち」を栽培しています。また、特別栽培農産物の認証を受けた「コシヒカリ」や、低アミロース米の「ミルクークイーン」なども栽培されています。



畑作物では、全国的に有名なブランド「江戸崎カボチャ」の産地です。管内西部の畑地帯では、西瓜や大根、トマト、コギクのほか、落花生も多く作付けされています。また、霞ヶ浦湖畔の水田を利用したレンコン栽培も有名です。

<稲敷地域の市町村の主な農作物>

龍ヶ崎市	水稲、トマト、コギク、サツマイモ、ラッカセイ、ダイコン
牛久市	水稲、スイカ、ダイコン、コギク、ラッカセイ、サツマイモ、梨
稲敷市	水稲、カボチャ、レンコン、イチジク、ブロッコリー、酪農
美浦村	水稲、イチジク、マッシュルーム、イチゴ、梅、レンコン、シイタケ
阿見町	水稲、スイカ、レンコン、ラッカセイ、ネギ
河内町	水稲、レンコン、ブロッコリー、ナス